

第21回大会

平成12年8月7日、8日

男子・那須野ヶ原カントリークラブ

女子・スポーツ振興東那須CC 男子38校・女子16校



水城（茨城）が通算5アンダーの427で2年ぶり5度目の優勝を飾り、女子は東海大二（熊本）が通算8アンダーの430。2位に32打差をつける圧勝で2連覇を達成した。

日体荏原（東京）に並ぶ史上最多タイの5回目の栄冠に輝いた水城には、絶対的なエースがいなかった。それぞれが役割を果たしチームプレーに徹した。地区予選では上級生から先に出していたスタート順を一変、選手のタイプに合わせ打順を変更したことが功を奏した。高山之賀（3年）は、先頭に立って前へ行きたがる性格を生かし1番手を担った。「ドライバーさえ曲がらなければアンダーパーは出せる」の言葉とおり2日間60台で回った。2番手は、堅実で冷静なプレーが信条の川崎巨樹（3年）が安定度の高いゴルフで2日間1アンダーでつないだ。3番手に起用された糸井中（2年）は、5番ロングホールでチップインイーグルを奪うなど果敢なプレーを魅せた。最後に主将の藤田尚希（3年）がチームをまとめた。明德義塾（高知）と並んで迎えた最終日に、「相手を気にせず自分のゴルフをすれば絶対勝てる」とチームメイトにはっぱをかけた。

5度目の優勝に、石井監督は、「自分の生徒たちがこんなにすごいかと感動しました」と目を潤ませた。藤田と川崎は中学時代に全国大会の経験もない雑草集団が、本命・柳川（福岡）などの強豪を退け快挙を達成した。

女子は東海大二（熊本）が実力を見せつけた。成田、紫垣、古閑の3人で12バーディー、2ボギーの10アンダーで回った。32打差をつける圧勝で2連覇を決めた。金栗監督の優勝コメントも「まさかこんなにアンダーが出るとは思わなかった」と驚きが先だった。昨年の主力3人が残り盤石な布陣で臨むとともに、地元熊本の抜群なゴルフ環境にも勝因があった。ジュニアゴルファーが県内のコースで回るとメンバーフィー以上料金を取られることはない。2000円～3000円以下で回れる。古閑も強さの秘密を「環境ですね」と言った。

また、初の女子大会開催となったスポーツ振興東那須CCでは、コースのメンバーがボランティアとして大会運営に協力した。男子の那須野ヶ原CCでは、地元・大田原市の広報で募集したボランティアが活躍し、高校生ゴルファーの戦いをサポートした。



◇男子成績

①水城（茨城）427（214・213）

高山 之賀③138（69・69）
糸井 中 ②143（71・72）
川崎 巨樹③146（74・72）
藤田 尚希③152（77・75）

②明德義塾（高知）430（214・216）

河平 英克②142（68・74）
傍士 基 ③142（72・70）
山本 隆允②147（74・73）
川崎 政志③150（77・73）

③大阪桐蔭（大阪）434（219・215）

森本 雄也③142（71・71）
枚本 晃一③147（77・70）
坂本 庄司②151（71・80）
原田 大介③153（79・74）

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| ④柳川（福岡）436(219・217) | ⑳千葉日大（千葉）468(223・245) |
| ⑤クワーク記念国際（兵庫）439(220・219) | ㉑東北（宮城）470(233・237) |
| ⑥香川西（香川）440(220・220) | ㉒東京学館浦安（千葉）471(239・232) |
| ⑦瀬戸内（広島）442(224・218) | ㉓中京商（岐阜）472(230・242) |
| ⑧埼玉栄（埼玉）442(215・227) | ㉔久居（三重）473(238・235) |
| ⑨仙台育英（宮城）448(221・227) | ㉕美濃加茂（岐阜）475(241・234) |
| ⑩冲学園（福岡）449(224・225) | ㉖愛工大名電（愛知）478(242・236) |
| ⑪厚木北（神奈川）450(230・220) | ㉗日大（東京）478(234・244) |
| ⑫東海大（北海道）450(221・229) | ㉘恵庭南（北海道）479(239・240) |
| ⑬PL学園（大阪）452(232・220) | ㉙平安（京都）480(232・248) |
| ⑭西原（沖縄）452(229・223) | ㉚日大高（神奈川）483(242・241) |
| ⑮佐野日大（栃木）454(232・222) | ㉛千葉学芸（千葉）483(240・243) |
| ⑯東海大二（熊本）457(231・226) | ㉜近大付（大阪）484(242・242) |
| ⑰駿台甲府（山梨）458(231・227) | ㉝立正（東京）490(238・252) |
| ⑱日体荏原（東京）458(227・231) | ㉞日大三島（静岡）496(246・250) |
| ⑲岡山山陽（岡山）459(230・229) | ㉟駒場学園（東京）499(253・246) |
| ㉑埼玉平成（埼玉）460(228・232) | ㊱興国（大阪）502(253・249) |
| ㉒札幌光星（北海道）466(231・235) | |

◇女子成績

①東海大二（熊本）430（221・209）

古閑 美保③142（74・68）
紫垣 綾花③142（73・69）
成田いづみ③146（74・72）
橋本 綾②161（83・78）

②熊本中央女子（熊本）462（230・232）

宮里 弘子③150（74・76）
清田 恭代②155（76・79）
片岡まどか③157（80・77）
富村 美和①—（—・86）
平 元代③—（88・—）

③香川西（香川）463（234・229）

吉田 藍子③152（75・77）
横山 倫子①155（80・75）
杉原 良実③156（79・77）
前田 陽子①168（83・85）

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| ④埼玉栄（埼玉）465(240・225) | ⑰春日丘（大阪）519(265・254) |
| ⑤滝川二（兵庫）467(239・228) | ⑱津島女子（愛知）520(255・265) |
| ⑥北海道工（北海道）480(242・238) | ⑲日体荏原（東京）526(268・258) |
| ⑦厚木北（神奈川）486(252・234) | ⑳佐野日大（栃木）549(282・267) |
| ⑧仙台育英（宮城）486(244・242) | ㉑小山（静岡）565(279・286) |
| ⑨東北（宮城）488(246・242) | ㉒京都学園（京都）575(287・288) |
| ⑩岡山山陽（岡山）493(250・243) | |

※名前の後の丸数字は学年。各学校各日上位3人の合計スコア。タイスコアの場合は、同4人の合計スコアで順位を決定する。さらに同数の場合は、初日のチームスコアで順位を確定